

2018年度
南山大学

AO入学審査
[外国語学部]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

2018年度南山大学AO入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2017年9月23日実施)

＜外国語学部 英米学科＞

以下は2014年に女優のエマ・ワトソン (Emma Watson) が国連で行った演説である。これを読んで、設問に答えなさい。

問題文は都合により掲載しておりません

2018年度南山大学AO入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2017年9月23日実施)

＜外国語学部 英米学科＞

設問1. 以下の問いに日本語で答えなさい。

この演説でエマ・ワトソンは何を伝えようとしているのか、簡潔に説明しなさい。
(1000字程度)

設問2. 以下の問いに英語で答えなさい。

In this speech, Emma Watson asked for the support not only of women but also of men. Why did she do so? Write your opinion in about 150 words.

2018年度南山大学AO入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点

(2017年9月23日実施)

<外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科>

「スペイン—英語・国家語・地域語のせめぎあい—」（柿原武史著）から抜粋した次の文章を読み、スペインやラテンアメリカの国や地域における状況を例に挙げながら、公用語と少数言語、多文化社会と言語、言語とアイデンティティーといった観点から具体的なテーマを自由に設定し、1000字程度であなたの考えを述べてください。（あるいは、今や国際標準語と化している英語とグローバル社会におけるスペイン語の役割、といった側面からの論述でも構いません。）

*小論文の冒頭にタイトル（題目）を記してください。

1978年憲法は、カスティーリャ語（いわゆるスペイン語）を国家の公用語と定め、自治憲章で地域固有の少数言語（以下、地域語）を公用語に定めた自治州においては、その言語も公用語とすることを認めている。その結果、6つの自治州が地域語を自治憲章内で公用語として定め、それらの言語は当該自治州内では国家の公用語であるカスティーリャ語と同等の地位を有することになった。.....

.....（中略）.....

日本では地域語回復政策の先進的な事例として紹介されることが多いスペインにおいても、やはり英語教育は重視されている。しかし、一方で、地域語を公用語とする自治州では、英語教育が拡大する中、国家語と英語に加えて地域語の教育も堅持した教育が実施されている。ガリシア自治州では、「複言語」教育（plurilingüismo no ensino）と呼ばれる新たな取り組みが行われている。これまで同自治州ではカスティーリャ語とガリシア語の二言語教育が行われてきたが、「複言語」教育は、カスティーリャ語とガリシア語の均衡を保ちつつ、英語教育を充実させようという意欲的な改革である。学校教育における英語の存在が拡大することで、地域語の地位が低下する懸念もあるが、3言語を平等に扱った教育により、自己の言語・文化を相対化し、異言語・異文化に対しより開かれた態度を育む真の「複言語」教育が実現する可能性もある。.....

.....（中略）.....

従来からの同自治州の言語政策の理念である「均衡のとれた二言語主義」が「均衡のとれた複言語主義」へと受け継がれれば、理想的な複言語教育が実現するのではないだろうか。つまり、複数の言語を学ぶことで、自分の言語や英語を相対化する態度が身に付くのではないだろうか。

（柿原武史著「スペイン—英語・国家語・地域語のせめぎあい—」、森住 衛・古石篤子ほか編著『外国語教育は英語だけでいいのか—グローバル社会は多言語だ！—』、くろしお出版、2016年、pp.73-85より）

<外国語学部 フランス学科>

1. 次の文章の論旨を要約しなさい (200字以内)
2. 次の文章の内容を踏まえた上で、充実した海外生活を送るためにはどうしたらよいか、あなたの意見を書きなさい (800字以内)

日本人の海外適応は進化したか

マスメディアを通じて海外情報が氾濫し、海外旅行が老若男女、全国津々浦々にまで普及した今日、一見海外が身近になり、簡単に住めそうな錯覚に陥ってしまいます。が、それが錯覚であることは、住んでみたいと憧れる国に3ヶ月以上住んでみれば分かります。私たちが得る情報と現実の間には想像を絶するギャップが横たわっている訳ですが、何故このようなギャップが生まれるのでしょうか。それには、まず、情報を提供するメディアの担い手が既に錯覚に陥っているという事情があります。次に、情報を受け取る私たちの側に途方もなく理不尽な思い入れや思い込みがあり、「イメージ思考」が優位になって常識的な論理が働かなくなることが考えられます。例えば、スイスと聞くと「アルプスの少女ハイジ」のような清純素朴な国を想像するなどはその典型です。本物のスイスは一筋縄では行かぬ存在ですが、「大国に囲まれたあのような小国が今日まで生き残るには、国家も国民もよほどしぶとく、したたかに違いない」と考えるのが当たり前の理性であり、常識的な考え方というものでしょう。

フランスやフランス人に対しても然り。パリジャンやパリジェンヌと聞くと、日本では粹で優雅な存在のようにイメージされますが、当地では特にプラス・イメージで語られることはほとんどなく、場合によっては利己主義者か「えげつなき人々」の代名詞にさえなります。海外不適応の甚だしい事例ではまずこのようなイメージ思考に由来するプラス・イメージがあちこちにあり、それがほとんど無意識下にまで沈潜しているためか、実際に海外生活を開始しても適切に解消されることがありません。その上に日々の不快な体験が加わると、今度は反動的にマイナス・イメージ一辺倒になり、結局、プラスとマイナスの間を激しく振り子運動させられる、つまり「振り回される」結果、もともと脆弱だった理性的な論理思考を基盤とする現実検討の平衡感覚が破損するか機能不全を起こしてしまいます。単に揺さぶられるだけならいわゆるカルチャ・ショックの範囲ですが、破損や機能不全に至れば、病的カルチャ・ショックに由来する海外不適応として精神医学的な治療を必要とします。

ところで、日本人が欧米と本格的に接触するようになったのは幕末の幕費留学生をもって先駆とされていますが、チョンマゲに二本差しの武士が欧米へ渡ったときのカルチャ・ショックは想像を絶するものであったに違いありません。その後、明治の官費留学生の時代になっても、夏目漱石に見られる通り、それは精神的な危機に陥るほど大変なもので、海外

<外国語学部 フランス学科>

不適応の例としてしばしば引用されています。漱石は帰国後、呉秀三博士の治療を受け、それを克服して文豪と称されるまでになった点、実に偉大なのですが、精神的危機に陥ったまま再起不能となったケースは少なくないはずです。そのころの日本人と現代の私たちを比べると、果たして、私たちの方が彼らよりも海外によく適応するだろうか、というのがこの節のテーマです。

単純に比較すれば、現代の私たちの方が適応しやすいのではないかと考えられますが、この14年間、カルチュア・ショックに陥った日本人のケアというフィールド・ワークをフランス・パリで実践した結果、必ずしもそうとは言えないと結論するに至りました。以下はその考察です。

まず、幕末のサムライ留学生は欧米の文明に圧倒されながらも日本武士としての強烈なプライドを保持していました。日本人が欧米・白人コンプレックスを抱き始めるのは、むしろその後、文明開化が進行し、富国強兵をスローガンに何とか欧米に追いつこうと意図してからです。明治、大正、昭和を通じて日本人はこのコンプレックスに悩まされ続けてきました。それは大東亜戦争中の「鬼畜米英」という歪んだ優越感や戦後の高度経済成長期に米国のハーマン・カーンらによる「ジャパン・アズ・ナンバーワン」に刺激された優越感に変形することはありましたが、既に経済大国となって久しい平成時代に入っても根本的には日本人の心理から解消されていません。それどころか、単なる白人コンプレックスではなく、英仏語や欧米の生活・習俗へのコンプレックスなども絡み、その中身も微妙に変化しています。日本人の昨今の右傾化はこのような変形の一つとも考えられ、コンプレックスを解消する力強い理性や感情はむしろ停滞しています。このようなコンプレックスと経済力を背景とする奇妙な優越感は、アジアには高姿勢、欧米には低姿勢あるいは高姿勢的低姿勢という倒錯した心理を醸成し続け、いつまで経っても適度なバランスを持てぬまま、世界のどの文化圏への適応も難しくしていると考えられます。

不適応の中身も時代とともに変容します。幕末・明治の留学生が体験したカルチュア・ショックは文字通り西洋文明に圧倒されて押しつぶされそうになったも同然のショックです。実際に押しつぶされたケースはあまり記録がありませんので知るよしもありますが、多くがつぶされずに持ちこたえられたのは、彼らに「新しい国づくり」への義務感や自負心があったからだけではありません。当時の留学生は漢学や国学の教養が深く、その上、蘭学や英学・仏学の洗練も受けた超インテリであったことを忘れてはなりません。特に漢学を基盤とする学問的素養は武士道とともに日本人としての強力な自己アイデンティティの支えとなっており、強烈なカルチュア・ショックを乗り越える内在的な力になっていたと推測されます。翻って、現代の私たちはといえば、受験体制に拘束された学校教育からはそのような内面的な力を蓄える機会もなく、日本人としてのプライドを何処に求めてよいのかも分からぬ

2018年度南山大学AO入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2017年9月23日実施)

<外国語学部 フランス学科>

まま、極めてひ弱な自己アイデンティティしか身につけていません。しかも、日本で習得する外国語は主に英語ですが、学校英語ひとつとっても10年やってもモノにならぬ代物で、幕末や明治の留学生の外国語力と五十歩百歩という実情です。そのくせ、マスメディアからのどうしてもよい情報だけはたっぷり持っていて、それがあつた種の間違った先入観を植えつけているのですから、実にいびつな状態で海外渡航して海外生活を始めることになる訳です。

太田博昭「パリ症候群」稲賀繁美（編）『異文化理解の倫理に向けて』（名古屋大学出版会、2000年）

二〇一八年度南山大学AO入学審査問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇一七年九月二三日実施)

〈外国語学部 ドイツ学科〉

次の文章を読み、文末の設問に答えなさい。

ドイツには限らないが、その国の人びとの行動様式を知りたいと思えば、方法はひとつしかない。彼らの人と人との関係のあり方を知ることである。ところがその関係のあり方は、たいてい言葉という厚い衣装をまとって表れてくるし、歴史や伝統に育まれた慣習に支えられているものだから、外国人にはなかなか分かりにくい。そのために、しばしば大雑把なドイツ人論が現れたりもするのである。しかし、外国史を研究する場合の究極的な目標は、この関係のあり方を知ることにつぎるのだから、それを探る方法ができていなければならない。そしてその方法は、格別難しいものではないのである。

人間と人間の関係は、モノを媒介とする関係と、目に見えない絆によって結ばれた関係とから成り立っている。この原則は、世界のどの民族の場合でもまったく変わらない。このふたつの関係は重なりあっているが、時と場合によってはどちらかにアクセントが移ることがある。そうした一断面だけを見ると、例えば日本人は「エコノミックアニマル」であるとか、ドイツ人には「没個性的な団体志向」があるなどという評価が生まれてくるのである。ふたつの関係のバランスがくずれるとき、その状況のなかで生きている人びとの不幸が見えてくるにすぎないのであり、それをもつて即断してはならないのである。以上のような観点から、ドイツ人の歴史を探ってみることにしよう。

ここでいうモノは、目に見えるモノであるかぎり何でもよいのだが、ここでは食べ物を例にするのがふさわしいだろう。ドイツ人の場合、日本人と決定的に異なるようにみえるのは、肉食の伝統が長い点である。肉は食品として提供されるかぎりモノでしかないのだが、このモノ（＝食肉）を媒介にして人と人との関係が結ばれてゆかざるをえない。この場合、食肉を媒介にして食肉供給業者（＝肉屋）と買い手の関係が結ばれるだけでなく、人と人との間に目に見えない絆によって結ばれた世界が生まれているのである。肉屋と買い手の関係については説明を要しないようにみえるが、実はそうではなく、ここにすでにドイツ人の人間と人間の関係の基本的な特質が表れている。

肉屋の誕生と衛生管理

農村では原則として、自ら飼っている家畜を冬のはじめに屠殺し、越冬用の塩漬け肉や燻製肉を作っていた。しかし十二、十三世紀からヨーロッパに成立した都市は、市壁に囲まれており、都市内に牧地をもたない。家の裏庭で豚やヤギは飼うことができたが、やがて臭気と鳴き声がうるさいために禁止されてゆく。こうして都市の成立とはほぼ同時に専業の肉屋が登場する。そこで問題となるのは、食肉供給のシステムである。

中世都市は市壁内に「自然」を取り込むことができなかつたから、上・下水を含めて人工の「浄化・衛生手段」を工夫しなければならなかつた。衛生管理を怠ると住民が全滅してしまうこともまれではなかつたのである。ペストが流行したときに全滅してしまった町が少なくなかつたことが、それを物語っている。従って、冷凍設備のない時代には、食肉の衛生管理に独自の制度を作らなければならなかつたのである。

屠殺場を川に面したところにおき、そこで二日間生きた家畜を観察し、病気の診断をする。その後も市の監視官が一頭一頭家畜の検査をし、病気と思われる家畜を排除してゆく。さらに屠殺した家畜の肉は、二日間しか屋台で売ることができない。このような厳格な規定が定められてゆく。

〈外国語学部 ドイツ学科〉

中世都市の組合の精神

都市には家畜市場があり、農民が持ち込んだ家畜が取引される。一般の市民もそこで家畜を購入することができた。もし肉屋と一般の買い手とが競合した場合は、肉屋には優先権がないことになっていた。食肉の供給が肉屋の仕事の目的なのだから、消費者が優先されたのである。

肉屋がそのような規則に違反したときには、厳しい罰則が待ち受けていた。汚物溜めの上につるされた鉄の籠に入れられて、数回すっぽりと汚物のなかに漬けられるのである。あるいは肉屋の組合から除名されることもあった。除名されれば営業ができないから、それは生計の道を断たれることを意味した。市民の食生活を支える食肉業者の社会的責任が、このような重い刑罰によって自覚させられていたのである。

ところで、このような規定は肉屋の組合と市参事会が決めたのだが、この組合は本来肉屋という職業を営む者の単なる利益団体ではなかった。この世に生を受け、たまたま肉屋という職業を営んだにすぎない人びとが、互いに助け合い、未亡人や孤児そして病人や老人の世話をするだけでなく、仲間が死去したときには皆で葬儀に参列し、野辺送りを行うための組織でもあった。実に現在の保険や年金などの制度は、すべて中世都市の組合に起源をもっているのである。つまり肉屋という職業において結ばれた人びとが、営利を追求するだけでなく、互いのつきあいを死後の世界にまで広げて深めてゆくための組織でもあった。従って、この組織は、地域を超えて拡大しうる可能性をもっていたのである。

近代に入って、資本主義的生産様式の展開とともに営利追求に力点がおかれるようになった結果、かつて中世の組合がもっていた人と人との素朴なつきあいの形や目に見えない絆に結ばれた組織としての性格は薄れてゆき、十八、十九世紀にこの中世的な組合は解体してゆく。しかしながら中世の組合の精神は現在でも生きている。ドイツの多くの工場でいまなおマイスター（親方）制度が残っていることが、それを物語って

いる。食肉生産だけでなく、すべての職人のモノとの対話が、そこでは重視されている。いわゆるドイツ職人気質の本質は、中世都市の組合のなかでつくられていったのである。

食肉を媒介にして肉屋と買い手の間に、さらに肉屋相互の間に、以上のような関係が結ばれており、このような関係はあらゆる手工業生産部門で結ばれていた。さらに大学や修道院のような組織でも、基本的には同様な関係が結ばれていた。大学の教授、講師、学生との関係が、手工業における親方、職人、徒弟の関係に対応するものであったことはいうまでもない。大学とは本来教授あるいは学生の組合から出発したからである。

ソーセージの役割

ところで、肉を媒介として人と人との間に目に見えない絆が結ばれてゆく点について、次に観察してみよう。すでに見たように、組合は本来死者の冥福を祈る役割をもつ組織であり、モノの世界から霊の世界へのかけ橋となっていたのだが、ここでは組合とは別に食肉そのものについて述べておきたい。

ドイツ人がソーセージを好むことはよく知られている。ソーセージは古くからドイツ人の食生活のなかに深く根づいているために、ソーセージをめぐるさまざまな民俗が形成されているのである。

それぞれの家に家の霊が住んでいると考えられていた時代には、家の霊に供え物をしたのだが、アンハルトのロスラウでは、どんなに貧しい家でも家の霊に飲み物とクッキー、ハムとソーセージを供えたという。ロッホホルツによると、ガリチア地方では死者の棺のなかに穀粒とともにソーセージも入れた。物語では、竜をひきよせるためにソーセージが用いられている。ソーセージは、このように魔術的な性格を帯びた食べ物であった。従ってソーセージを作る際にも、よそ者や生理中の婦人を近づけてはならず、また沈黙して作業を行わねばならないという掟があった。さもないとソーセージの皮が割れると信じられていた。

二〇一八年度南山大学 A O 入学審査問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇一七年九月二三日実施)

〈外国語学部 ドイツ学科〉

ミュンスタラントでは、クリスマスの夜のことを「ソーセージの夕」ともいう。ミサから帰ったときにソーセージを食べる習慣がある地方もある。ハンブルクの近くのオルデンブルクでは、大晦日の夜に召使いをも含めて家族全員が竈の周りに集まり、膝の上にソーセージと肉やスープを盛った皿をかかえて、パンをスープにひたして食べる習慣がある。これらの習慣は、ソーセージが豊穡を招き、恵みをもたらす食べ物とみなされていたことを物語っている。つまりソーセージは、神と人との結ぶ食べ物だったのである。

一五二八年にケーニヒスベルク（現在のカリニングラード）の肉屋たちは、一九八エレ（一エレはところによつて違ふが五五〜八五センチ）もの長さのソーセージを作り、四八人の職人がこれをついで町を練り歩いたと伝えられている。一五八三年には、長さ五九六エレ、重さ四三三四グラム（二グラムは四七〇〜五六〇グラム）の巨大なソーセージが、九一人の肉屋にかつがれて町中をまわった。一六〇一年にはさらに、一〇〇五エレの長さのソーセージが城までかつぎ込まれた。

ニュルンベルクでも一四九一年に、六〇〇エレもの長さのソーセージをついで練り歩いた記録がある。これらのソーセージは練り歩いたのち、皆で食されたのである。肉屋たちは自分たちの技術を誇り、大きなパンを作ったパン屋と競って大きなソーセージを作ったのだが、その相底には、ソーセージには町の人びとに恵みをもたらす力があるという信仰があった。いまでも欧米の町からときに三〇〇メートルもの長さの巻きパンを作ったニュースなどが伝えられるが、それも中世都市における組合の祭りの慣習にさかのぼるものである。

ドイツで最も親しまれているソーセージも、ドイツの人と人との関係のなかで、このように重要な役割を担ってきたのである。

出典 阿部 謹也 『食肉とドイツの共同体 「阿部謹也著作集〈3〉」 所収』

二〇一八年度南山大学 A O 入学審査問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点 (二〇一七年九月二三日実施)

〈外国語学部 ドイツ学科〉

設 問

- 一 本文の論旨を要約しなさい (二〇〇字程度)。
- 二 本文の内容について考えたことを自由に述べなさい (八〇〇字程度)。

〈外国語学部 アジア学科〉

左記の長文を読んで、文末の設問に答えなさい。解答紙の上部枠外にある手書きの数字は、『設問』の番号に対応している。

(なお長文の出所は『ニューズウィーク日本版』二〇一七年六月六日号(二六頁、二七頁)で、著者は米国外交問題評議会シニア・フェローのイーライ・アトナーと同研究員のサミル・クマルである)。

アメリカ政府が混乱に陥るなか、5月中旬に北京で開かれた「①一帯一路」構想に関する国際会議は、アジアにおけるアメリカの指導力が危機に瀕していることを示す警鐘のようだった。

会議には130カ国から首脳29人を含む1500人以上の代表が集まった。13年に中国の習近平国家主席が発表したこの一帯一路構想は、アジア、中東、欧州をつなぐインフラの提供を目指している。

65カ国以上の参加と資金1兆ドル前後を集める予定の野心的な計画。提案されているプロジェクトの斬新さ、価値、実現可能性を疑う向きはあるものの、世界中のリーダーはこれ以上の開発のチャンスはないだろうという気持ちから

参加を切望している。

アジアに対するアメリカの関与がこれまでになく不明確な時期に、中国の指導力が発揮されたのは、これが初めてではない。

一方で、アメリカは何をしたか。国防費の増額だ。ジョン・マケイン上院議員は、太平洋地域の安全保障強化に75億ドルを投入する「アジア太平洋安定イニシアチブ」を提案した。マケインのスポークスマンによれば、「これによって軍事インフラが改善される」ばかりではなく、兵器を追加購入し、アジアの同盟国やパートナーの防衛能力を向上させることができる。

このアイデアは人気があり、ジェームズ・マティス国防長官や超党派議員

〈外国語学部 アジア学科〉

グループ、ウォールストリート・ジャーナル紙の杜説で支持されている。

だが、ここには落とし穴がある。アメリカの軍事費増額は大いに必要だが、それだけではアジアにおけるアメリカの力を蘇生させることはできない。

確かにアメリカの軍事力増強とアジア域内の米軍の地位の強化は欠かせないが、米中のアジアにおける目先の影響力の争いの行方は、むしろ経済に懸かっている。その点では、TPP（環太平洋経済連携協定）を離脱して以来、アメリカは中国に対して敗北を続けて

いる。トランプ政権は、米韓自由貿易協定など既存の協定の見直しを示唆したり、再交渉の脅しをかけたりして、事態を悪化させる一方だ。

中国にとっては信じられないほどの幸運が続いている。トランプ政権には貿易と投資を誘導する計画がないように見える。一方、中国はアメリカからアジアにおける指導的な地位を奪おうとしている。

15年にはアジアインフラ投資銀行(AIIB)を発足させ、資本金1000億ドルのうち3割弱を提供した。今

年3月にはベルギー、カナダ、アイルランドなど13カ国・地域が参加して着実に拡大しており、加盟は70カ国・地域に達した。一方、14年に新興5カ国(BRIC S)が設立した新開発銀行も中国主導で運営されている。

同様に貿易でも指導的立場に立つ構えで、ASEAN（東南アジア諸国連合）にオーストラリア、中国、インド、日本、ニュージーランド、韓国の6カ国を加えて広域経済圏の創設を目指す東アジア地

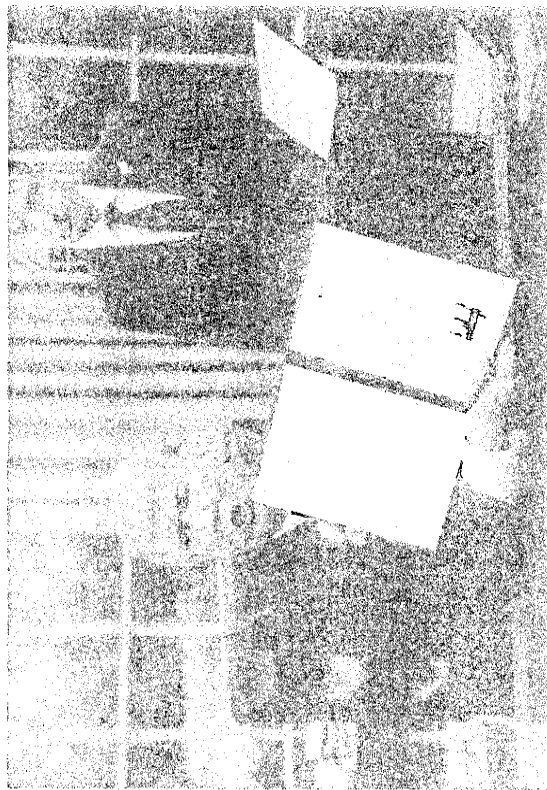


図1 図2 図3 トランプは1月、TPPから離脱する大統領令に署名した

〈外国語学部 アジア学科〉

域包括的経済連携 (RCEP) 交渉でも主導的な立場にいる。

11年に始まった交渉のペースは、15年末以来加速した。最終的にまとまるかどうかは分からないが、RCEPは今や注目の的だ。だがアメリカは、交渉のテーブルにすら着いていない。

TPP復帰は最も簡単な一歩

これらの構想が重要なのは、純粋な経済的インパクトのせいではなく、アジアにおける中国主導の経済秩序という未来が避け難いという認識を喚起しているからだ。

アメリカがこれらのプログラムのいずれにも参加していないことは、誰もが心得ている。これは米政界内部だけで通用する空論の産物でもない。

最近の調査によると、東南アジア諸国のエリート層は、アメリカは戦略的に優位な立場を中国に譲り、トランプ政権はアジアにあまり興味がなく、頼りにならず、自由貿易を維持する可能性が低いとみている。

トランプ政権の経済政策が、無視と軽視の有害な組み合わせに見えれば、問題は主に軍事力に基づく戦略が果たして有効かどうかという点に戻ることになる。

この地域の政府当局者らは、東南アジア各国が中国の経済的報復を恐れて、アメリカと大規模な安全保障協力をしたがるなくなるす前だと警告する。シンガポールやオーストラリアのような

アメリカの旧友でも同じだ。

オバマ前米政権は米海兵隊2500人をオーストラリアに常駐させる交渉に成功したが、今のオーストラリアは米軍の新たな構想に合意しないだろう。それはトランプ自身とも関係が多少はあるが、より根本的な理由は、オーストラリア経済の未来は中国と切り離せないという、新たに生まれつつある信念だ（その根拠は必ずしもはつきりしないが）。

アメリカは、アジアにおける重要な国益を前進させるために、強く、独立した、信頼できる同盟国・パートナーを必要としている。しかしマケインのアジア太平洋安定イニシアチブのような提案が成功するためには、アメリカが中国と中国主導の体制への経済的依存に代わる何かをアジアに提供する必要がある。アメリカのTPP（またはその一部）への参加を復活させることは、最も簡単で明白な第一歩だ。

現在、アメリカの貿易関連の政策はひどい状態だが、アジアからの撤退と保護主義の影響も深刻だ。突然のTPP離脱の影響が深刻であればあるほど、トランプはアジアにおいてTPPと同じくらい野心的な経済的試みに取り掛からざるを得ないだろう。

そうでなければ、軍事力強化のために議会がどれだけ国防費の増額を約束しても、アメリカはアジアのかなり広い地域から締め出されることになってしまう。

〈外国語学部 アジア学科〉

【設問一】 この長文にタイトルをつけなさい。字数に制限はないが、タイトルの必要条件は簡略であることと全体を網羅していること。この二点を考慮すること。

【設問二】 ①「一帯一路」構想とは何か？ 自分の言葉に直して、百字以内で答えなさい。その際、読点や句点も一字に数えること。

【設問三】 ②にあるこれらのプログラムとは何か？該当するものを全て答えなさい。ただし解答の際にアルファベットは使用せず、それぞれ二十字以内で解答すること。

【設問四】 ③に関して、アメリカがアジアの広域から締め出されないために必要な対処法は何か？著者が考える対処法の二本の柱を、それぞれ十五字以内で答えなさい。

【設問五】 東南アジア諸国のエリートや政府関係者は、今日のアメリカと中国のせめぎ合いあいをどのように評価しているか？まず、長文の趣旨を整理しなさい。次に、この両国のせめぎ合いについて、大学でアジアについて学ぶことを希望しているあなた自身の意見と、このような時代を生きる人間として何ができると思うか？八百字以内で答えなさい。その際、読点や句点も一字に数えること。



南山大学

学務部入試課学部入試係

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

2018年度
南山大学

国際教養学部特別選抜試験
[AO入試型]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

<国際教養学部 国際教養学科>

1. Read the following article and summarize it in Japanese (about 400 characters).

SHORTLY BEFORE HALF-TIME in the World Cup⁽¹⁾ elimination match between England and Germany on June 27, the English midfielder Frank Lampard had a shot at goal that struck the crossbar and bounced down onto the ground, clearly over the goal line. The goalkeeper, Manuel Neuer, grabbed the ball and put it back into play. Neither the referee nor the linesman, both of whom were still coming down the field—and thus were poorly positioned to judge—signaled a goal, and play continued.

After the match, Neuer gave this account of his actions: “I tried not to react to the referee and just concentrate on what was happening. I realized it was over the line and I think the way I carried on so quickly fooled the referee into thinking it was not over.”

To put it bluntly: Neuer cheated, and then boasted about it.

By any normal ethical standards, what Neuer did was wrong. But does the fact that Neuer was playing football mean that the only ethical rule is “Win at all costs”? (中略)

Something similar happened last November, in a game between France and Ireland that decided which of the two nations went to the World Cup. The French striker Thierry Henry used his hand to control the ball and pass to a teammate, who scored the decisive goal. Asked about the incident after the match, Henry said: “I will be honest, it was a hand-⁽²⁾ball. But I’m not the ref. I played it, the ref allowed it. That’s a question you should ask him.”

But is it? Why should the fact that you can get away with cheating mean that you are not culpable?⁽³⁾ Players should not be exempt⁽⁴⁾ from ethical criticism for what they do on the field, any more than they are exempt from ethical criticism for cheating off the field—for example, by taking performance-enhancing drugs. (中略)

<国際教養学部 国際教養学科>

How would football fans have reacted if Neuer had stopped play and told the referee that the ball was a goal? Given the rarity⁽⁵⁾ of such behavior in football, the initial reaction would no doubt have been surprise. Some German fans might have been disappointed. But the world as a whole—and every fair-minded German fan too—would have had to admit that he had done the right thing.

Neuer missed a rare opportunity to do something noble in front of millions of people. He could have set a positive ethical example to people watching all over the world, including the many millions who are young and impressionable. Who knows what difference that example might have made to the lives of many of those watching? Neuer could have been a hero, standing up for what is right. Instead, he is just another footballer who is very skillful at cheating.

Is it Okay to Cheat in Football? by Peter Singer, Project Syndicate, Jun 28, 2010,
www.project-syndicate.org. Copyright (c) Project Syndicate 2010

- (1) World Cup = サッカー・ワールドカップ
- (2) ref = referee
- (3) culpable = とがめられるべき
- (4) exempt = 免除されて
- (5) rarity = 珍しさ

〈国際教養学部 国際教養学科〉

2. 次の文章を読み、英語(150 words程度)で要約しなさい。

自治体による子どものスマートフォン(スマホ)の利用禁止・制限が広がっている。

(略)

さらに、二〇〇九年六月には、石川県が同県の「いしかわ子ども総合条例」を一部改正し、防災・防犯などの必要がない限り、小中学生には携帯電話・スマホを持たせない努力義務を保護者に持たせた(第三三条の二第三項)。二〇一四年四月には愛知県刈谷市児童生徒愛護会の発案で、親子の約束によるフィタリングの義務付けに加え、同様の措置を取るよう、市内の全小中学校校長およびPTA会長に対して、要請を行った(加藤2016)。

しかし、何よりも同市の試みが注目されたのは、午後九時以降は保護者が子どものスマホ・携帯電話を預かるという利用制限だ。つまり、午後九時以降スマホ利用禁止である。

同じ四月、仙台市も東北大と同市教育委員会の共同研究にもとづき、勉強時間・スマホ利用時間と成績との相関から、一日のスマホ利用を一時間以内とするように、中学生に呼びかける冊子を作成・配布した。

二〇一四年末までに、携帯電話・スマホの利用時間制限は、ほかの自治体にも広がっている。福岡県春日市・福岡市、兵庫県多可町、山口県下関市が何らかの時間制限を設けている。静岡県ではPTAが同県教育委員会に制限を検討するよう呼びかけた。岡山県では県教育委員会が夜九時以降のスマホ・ゲームを利用制限するよう呼びかけた(子どもとネットを考える会2016)。

仙台市の調査結果を見る限り、スマホや携帯電話そのものの悪影響よりも、スマホや携帯電話利用をなかなかやめられないことによる睡眠不足が、勉強時間が多くてもスマホ利用時間が多い子どもたちの成績が伸びない原因のように思われる。

スマホや携帯電話が悪いというより、子どもの生活習慣の整備が重要な問題ではなかろうか。そもそもスマホを使って勉強の解説映像を配信する通信教育サービスもある。その点で、携帯電話やスマホを学業の邪魔として悪者視するのは、朝食と学業成績との疑似相関を過度に重視するのと同じだろう。

ただし、場合によっては、一律制限を行う利点は確かにありそうだ。ゲームと違い、スマホや携帯電話によるコミュニケーションは相手があるので、各家庭の教育方針で制限しようとしても、一斉に制限しなければ、なかなか子どもがやめがたいかもしれない。

また、経済的事情が許さず両親ともに子どもと過ごす十分な時間が取れない家庭もある。そのような家庭はスマホや携帯電話の利用指導を十分に行えない場合もありそうだ。だから、行政や学校が一律に禁止・制限することで、本来なら家庭で行うのが望ましい子どもの情報通信技術(ICT)利用指導を肩代わりする面もあるだろう。

しかしながら、情報社会で生きる子どもの自律やコミュニケーション能力の成長という観点から見ればどうだろうか。スマホやネットを活用する力が情報社会のコミュニケーション能力の基盤となる。はたして親たちはこの能力を教えられるだろうか。

確かにいじめも起きるが、そもそも保護者や教員など大人よりも子どもたちのほうがネットやスマホ利用に長けている。人間関係構築やトラブルが起きた場合の人間関係修復方法を子どもたち自身が育てているかもしれない。親や保護者が制限し、教えるという発想だけではうまくいかないように思われる。

＜国際教養学部 国際教養学科＞

3. 1 または 2 の文章に関して自分の意見を日本語(400 字程度)または英語(150 words 程度)で論述しなさい。

論述する言語により解答紙 (【日本語】、【英語】) が異なります。

どちらか一方のみを使用し、使用しなかった解答紙は持ち帰ってください。



南山大学

学務部入試課学部入試係

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)
Fax 052-832-3592
nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>